

令和 7 年度

第 1 回

士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

議 案

顛 末

日 時：令和 7 年 8 月 8 日(金)

午後 4 時00分～ 5 時00分

会 場：市役所本庁舎 2 階 会議室 2 0 1

会 議 次 第

1 開 会

[企画課秘書創生係長]

○令和7年度第1回士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開会する。

2 委 嘱 状 交 付

[企画課秘書創生係長]

○はじめに、委員の皆さんに委嘱状を交付させていただく。

[佐々木企画課係長]

○本日の欠席委員は、士別観光協会の千葉委員、士別商運高等学校の佐藤委員、北海道銀行士別支店の野尻委員、連合北海道士別地区連合会の小坂委員である。

3 挨 拶

[企画課秘書創生係長]

○渡辺市長から挨拶をさせていただく。

[市長]

○挨拶

[企画課秘書創生係長]

○はじめに本日の資料の確認を願う。

○本戦略会議の議長・副議長について、議長には、士別商工会議所の奈良委員、副議長には、北ひびき農業協同組合の笹村委員にお願いし、ご了承いただいているところ。

○それでは、奈良議長からご挨拶願いたい。

[議長]

○挨拶

4 報 告

(1) 企業版ふるさと納税の寄附実績について

[議長]

○それでは、(1) 企業版ふるさと納税の寄附実績について、担当者からの説明を求める。

[企画課係長]

○企業版ふるさと納税の寄附実績について、資料 1 に基づき説明

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

—質問・意見等なし—

5 議 事

(1) 第 2 期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略重点プロジェクトの検証について

[議長]

○次に、(1) 第 2 期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略重点プロジェクトの検証について、担当者からの説明を求める。

[企画課長]

○資料 2 の 1 ページ、R 6 数値目標の実績について説明

[企画課長]

○まちの未来創造 No. 1、2、5、6、12、13 について説明

[経済部長]

○まちの未来創造 No. 3、4、7、8、9、10、11

○農業未来都市創造 No. 14～20 について説明

[生涯学習部長]

○合宿の聖地創造 No. 21～24 について説明

[議長]

○ただいまの説明内容、各プロジェクトのうち、特に K P I の達成していない項目について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[委員]

○数値目標の交流人口は目標を達成しているが、各 KPI は達成していないものがある。道の駅の訪問者数は KPI を達成しており、他への波及効果、横のつながりが必要と考えるが、その対応策・取り組みはあるか。

[経済部長]

○まちなか交流プラザは観光拠点としてハブ機能を持たせ、市内観光地への相乗効果を生み出すような形で拠点づくりを行っているが、実施行っていることはパンフレット配置やマップの掲示等であり、効果については検証が必要と考える。ご提言・アイデア等あればお願いしたい。

(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用羊のまち士別「サフォークラム」ブランディング応援金事業の検証について

[議長]

○次に、(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した羊のまち士別「サフォークラム」ブランディング応援金事業の検証について、担当者からの説明を求める。

[経済部長]

○資料3 羊のまち士別「サフォークラム」ブランディングビジョン数値目標について説明

[議長]

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[委員]

○ふるさと納税について、個人ごとの実績は毎年わかるのか。また、継続した寄附をしている方が多いのか。

[経済部長]

○納税者及び返礼品についてリストアップしている。正確な統計は取っていないが、リピーターも初めて納税いただく方もいる。

[委員]

○士別市民で他の自治体に寄附しているものはわかるのか。

[経済部長]

○3,500万円程度と聞いている。

[委員]

○みよし市では3億円以上が他の自治体へ流出していると聞いた。

[市長]

○みよし市は普通交付税不交付団体のため、流出した分がそのまま減収となる。当市であれば、流出額の 75%が補てんされることになっている。

6 そ の 他

[議長]

○次に、「6 その他」であるが、事務局から何かあるか。

[事務局]

○なし。

[議長]

○全体を通して何かあるか。

[委員]

○KPI や数値目標について、どのような設定の仕方をしているか。

[企画課長]

○施策ごとに目標として KPI を設定、各施策の KPI を達成することにより最終的な達成目標として数値目標である KGI を設定している。数値目標の立て方としては、現状の実績に各施策の効果を予測しながら数値を定めていくという立て方、将来の数値目標を先に立てて、そこから逆算していくという立て方もある。施策の内容、期待する効果の発現時期等により適切な目標設定方法で設定している。

○総合計画に総合戦略を包含する方向で進めており、現戦略の 3 本の柱は『まちの未来創造』『農業未来都市創造』『合宿の聖地創造』であるが、戦略の本来の目的である人口増に直接つながるような目標を別途設定できないか検討中である。

[委員]

○今回未達成が 10 項目ある。合宿であれば将来的に今の受入れキャパシティが確保できるか、あさひスキー場の閉鎖に伴うマイナス分をどう見るか、根本を見ないで数字だけが先行している印象である。まちづくりをどうしていくのかという現実的な施策があって、そのうえで効果を求める数字があるという姿勢でやっていかなければ、実効性がなくなっていくとを感じる。回答は不要。

[委員]

○新規就農の方はそのまま定住しているか。何年か事業に携わった後に、成り立たないからやめて出ていく方はいるか。

[農業振興課長]

○今のところ新規就農の後に辞めて出ていく方はいない。

[委員]

○スポーツウィークについて、事前準備期間をもっと確保して、計画的に実施することで内容を充実させることができると考える。ホクレン・ディスタンスチャレンジをはじめ、素晴らしい選手が来ているのに観客が少ないため、工夫が必要ではないか。

[生涯学習部長]

○ご提言いただいた内容について、反省点を精査して来年に向けて対応していく。情報発信についても大切な部分であるとの認識、多くの方に参加いただけるような体制にしていきたい。

7 閉 会

[奈良議長]

○それでは、これで「士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を終了する。